

# 平成27年度 事業報告書

兵庫保育園

1. 《法人ヴィジョン》
  - ①経営の強化
  - ②サービスの質の向上
  - ③教育システムの充実
  
2. 《ヴィジョン》
  - ①よりよい環境づくり
  - ②誰からも愛される兵庫保育園
  - ③保育者の人間力、保育力の向上
  - ④人材確保
  
3. 《基本方針》
  - ①安全を第一に考え、子どもが安心して元気に活動できるよう工夫する。
  - ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
  
4. 《中長期計画》
  - ①子ども、保護者により添い、地域と共に歩む。  
→保護者との信頼関係を深め、日頃から積極的に話をするよう全職員で取り組んだ。  
地域の方々にも行事の案内をし、来園していただいた。
  - ②保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する。  
→職員会議、ミーティングなどで共有できる機会を設けた。
  - ③安全に留意しながら、園外で過ごす機会を増やす。  
→自然に触れたり、長い距離を歩いたりする機会を増やし、安全面に留意して園外保育を行った。
  - ④新制度の開始に伴い、保護者が安心して園を利用できるよう配慮する。  
→新制度の説明を随時行い、変更点や保育は今まで通りであることを伝え、安心して保育園に通えるようにした。
  - ⑤職場内、職場外の研修を充実する。  
→園内外での研修の機会をもち、伝達をし合った。
  
5. 《平成27年報告》
  - ①子どもや保護者、地域とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わった。
    - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者に早く職員を覚えていただき親近感を持っていただけるようにした。
    - ・ホームページの更新を行った。
    - ・地域の施設・学校・関係者に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていくようにした。
    - ・要支援家庭に対して、子どもの様子や家庭の状況など話し合う場を持つようにし、変化を見逃さないようにした。要支援家庭の報告を毎月、区の保健部に送り情報の共有をしている。

- ・「ひょうごっこひろば」を園庭開放に含め、園行事やイベントのお誘いを、ポスターや区の子育て支援センターの広報に掲載していただき参加者を募った。  
区の地域子育て支援センターとの共催で体験保育を開催し、保育園を知っていただくようにした。
  - ・園庭開放ポスター・チラシを病院等に掲示、配布した。
- ②職場内、職場外の研修の機会を設け、伝達し合うことで全職員が共通理解できた。
- ・11月23日大慈1日研修  
AM 幼保連携型認定こども園（新制度）について 高橋 登美子  
PM 体育遊び エール株式会社
- ③安全に留意しながら、園外で過ごす機会を増やした。
- ・園外で過ごす中で、ルールを守ることを知ったり、長い距離を歩いたり、いろいろな体験をすることで、体力づくりをした。自然に触れたり、自然の中で遊んだりすることで、季節の変化や美しさに気づけるよう配慮した。

## 6. <<在籍児一覧表>>

|     | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計   | 充足率  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 4月  | 6   | 16  | 18  | 19  | 22  | 21  | 102  | 113% |
| 5月  | 6   | 17  | 18  | 18  | 22  | 20  | 101  | 112% |
| 6月  | 6   | 17  | 18  | 18  | 22  | 20  | 101  | 112% |
| 7月  | 6   | 16  | 18  | 17  | 22  | 19  | 98   | 108% |
| 8月  | 7   | 17  | 18  | 17  | 22  | 19  | 100  | 111% |
| 9月  | 7   | 18  | 18  | 18  | 23  | 20  | 104  | 115% |
| 10月 | 7   | 18  | 18  | 19  | 23  | 20  | 105  | 116% |
| 11月 | 7   | 17  | 18  | 19  | 23  | 20  | 104  | 115% |
| 12月 | 7   | 17  | 18  | 19  | 23  | 20  | 104  | 115% |
| 1月  | 8   | 16  | 17  | 19  | 23  | 19  | 102  | 113% |
| 2月  | 8   | 16  | 17  | 19  | 23  | 19  | 102  | 113% |
| 3月  | 8   | 16  | 17  | 19  | 23  | 19  | 102  | 113% |
| 合計  | 83  | 201 | 213 | 221 | 271 | 236 | 1225 | 113% |

## 7. <<災害・防犯避難訓練>>

- ・全園児避難訓練（火災・地震・津波を含む）…月1回実施した。
- ・消防士の指導による避難訓練と消火訓練 …年1回実施した。
- ・防犯訓練（警察の方による、不審者侵入による防犯訓練）…年1回実施した。  
（保育士が不審者になり、園全体で防犯訓練）…年2回実施した。
- ・消火器 火災報知機の点検を年2回行った。
- ・消防署に避難訓練報告を年2回行った。

8. 《行事計画》

※年間行事

| 月   | 行 事   |
|-----|---|
| 4月  | 入園式   |
| 5月  | 親子のつどい 春の遠足                                     |
| 6月  | 食育フェア お楽しみ会 交通安全教室 歯科教育指導                       |
| 7月  | 全園児プール開き 七夕祭り 夏祭り プラネタリウム（5歳児）                  |
| 8月  | プール参観 スイミングスクール 小学校プール お年寄りとの交流会<br>ワークキャンプ受け入れ |
| 10月 | 運動会 お泊り保育（5歳児） 秋の遠足（全園児） お楽しみ会                  |
| 11月 | 焼きいも大会 参観ウィーク 消火・避難訓練 トライやるウィーク受け入れ             |
| 12月 | ドレミコンサート クリスマス会 お楽しみ会                           |
| 1月  | おもちつき よい子のつどい（5歳児）                              |
| 2月  | 豆まき 防犯訓練 生活発表会                                  |
| 3月  | おひな祭り お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式                       |

※月間行事（月1回）

・誕生日会・運動遊び・書道教室・音楽遊び

9. 《保健衛生計画》

| 項 目           | 頻 度 等              |
|---------------|--------------------|
| 園児・職員定期内科健康診断 | 園児5月・11月 年2回 職員年1回 |
| 園児歯科健診        | 6月・11月 年2回         |
| 園児耳鼻科健診       | 6月 年1回             |
| 園児眼科健診        | 6月・2月 年2回          |
| 園児身体測定        | 月1回                |
| 園児検尿・ぎょう虫検査   | 兵庫県予防医学協会により年1回    |
| 調理員・保育士全員検便   | (株)アリケンにより月1回以上    |
| 調理室の消毒        | サニックスにより月1回        |
| グリストラップ清掃     | 乾商事により年5回          |

10. 《リスクマネジメント報告》

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

※医師、看護師が常駐していないため、診察を受け医師の判断を仰いだ。

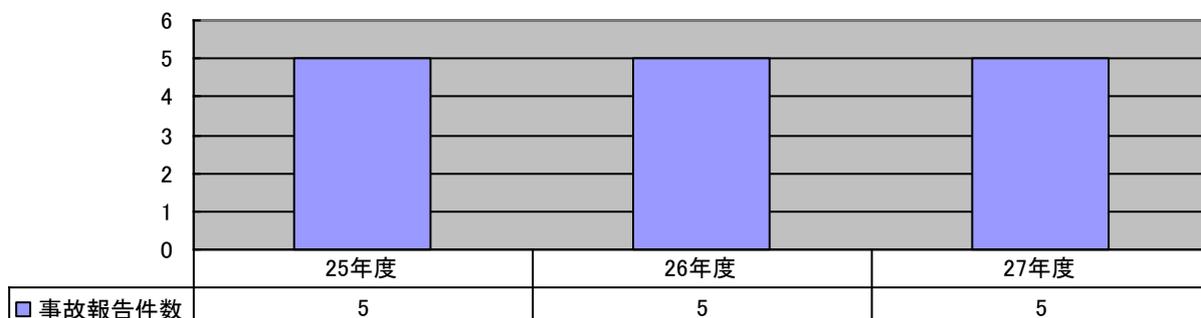
| 平成27年度   |       |    |          |      | 平成26年度   |       |    |          |      |
|----------|-------|----|----------|------|----------|-------|----|----------|------|
| 報告<br>件数 | 合計件数  | 事故 | ドキ<br>ドキ | 処置   | 報告<br>件数 | 合計件数  | 事故 | ドキ<br>ドキ | 処置   |
|          | 1965件 | 5件 | 1737件    | 223件 |          | 1734件 | 5件 | 1365件    | 364件 |

25年度723件（事故5件、ドキドキ467件、処置251件）

※救急箱の用品を使った際に記入する救急箱用紙の集計も行っている。

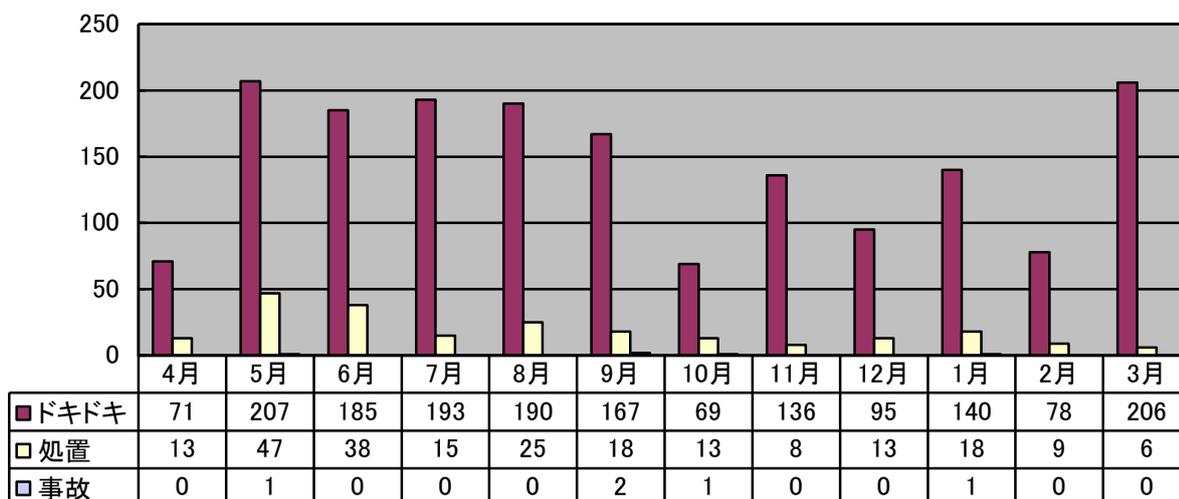
ドキドキの事故用とは異なり、一人で怪我をした際や園以外でケガをした箇所の手当て（例：絆創膏の張り替え、虫さされ、さかむけ等）を記入する。これらも全て処置に含まれるので、ドキドキの件数より処置の件数が多くなる場合がある。

### 年度別発生件数



### ①月別発生件数

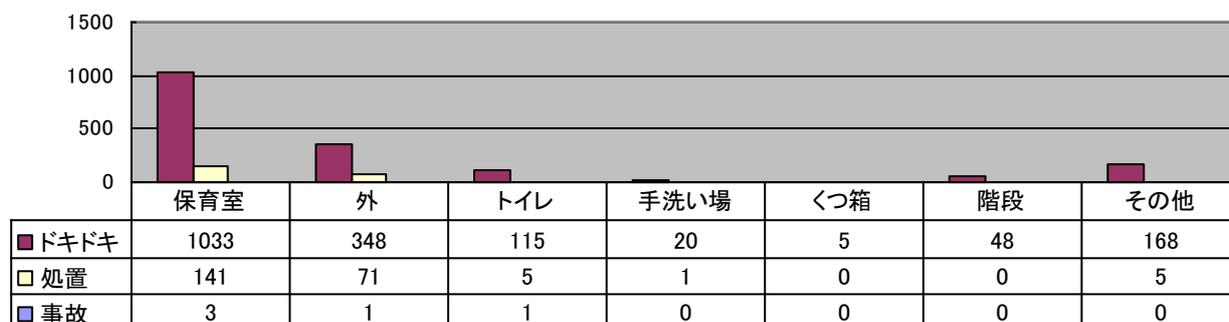
→4月から6月は、新しい環境に変わったこともあり子どもの情緒も安定していないことや保育士間の連携も十分でなかったため、ドキドキも処置も多かったと考えられる。



### ②発生場所別件数

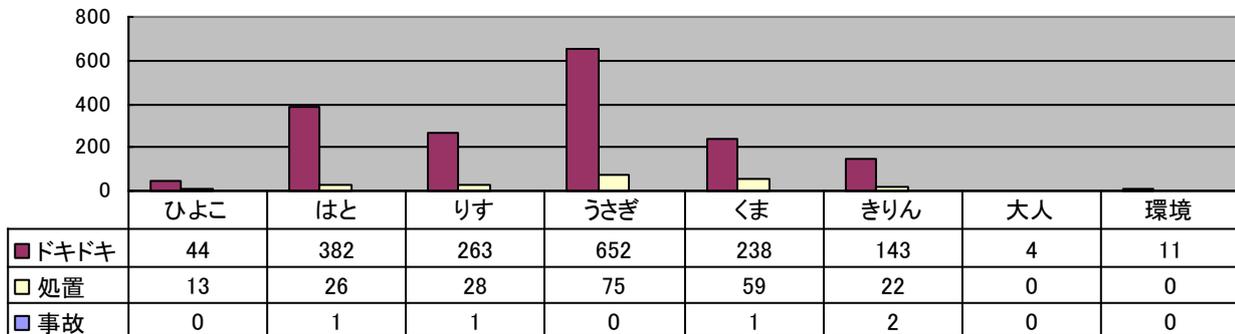
→保育をする時間が長い場所が多くあがっている。

→その他ではプール、トイレやテラスなど保育室以外の場所でもよくあがっていた。



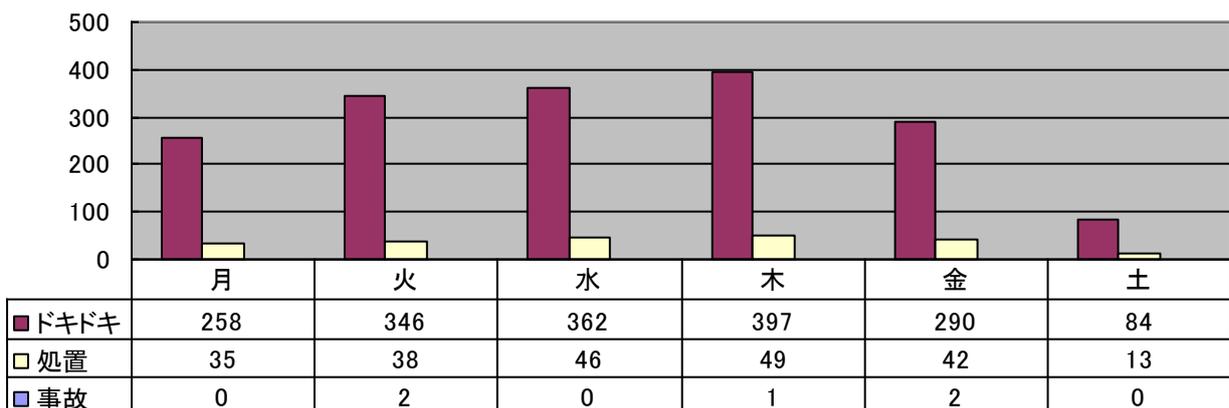
### ③発生クラス別件数

- 1 歳児クラスは、子ども同士のトラブルによるドキドキが多くあがっていた。
- 2 歳児クラスの処置の件数が多いのは、虫さされの薬を塗ったり、さかむけで絆創膏を使う等の救急用品を使う処置が多かったと考えられる。
- 4 歳児クラスは特定の子どものドキドキが多くあった。



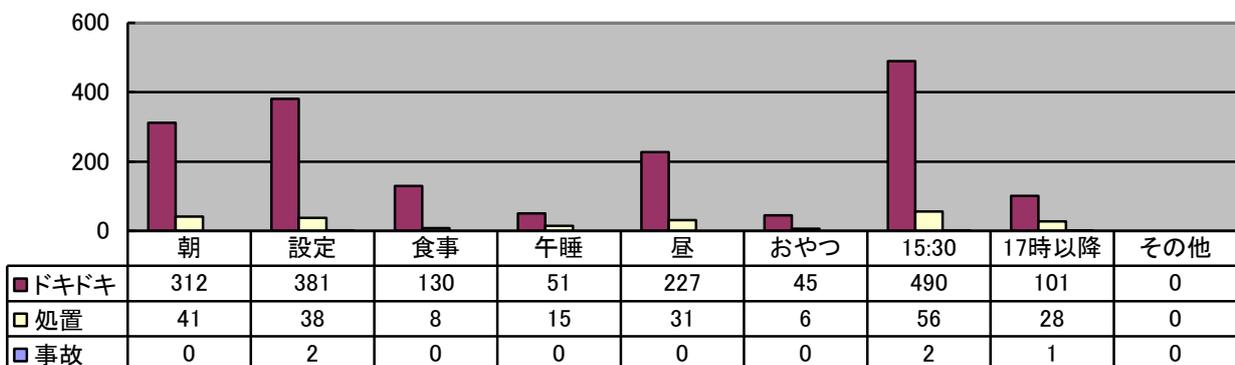
### ④曜日別件数

- 週の半ば、水曜になると、子ども同士の活動が活発になり、ドキドキする行動が増すことや怪我につながる人が多いと考えられる。
- 土曜日は、異年齢児との関わりが多く、怪我が多かったと考えられる。



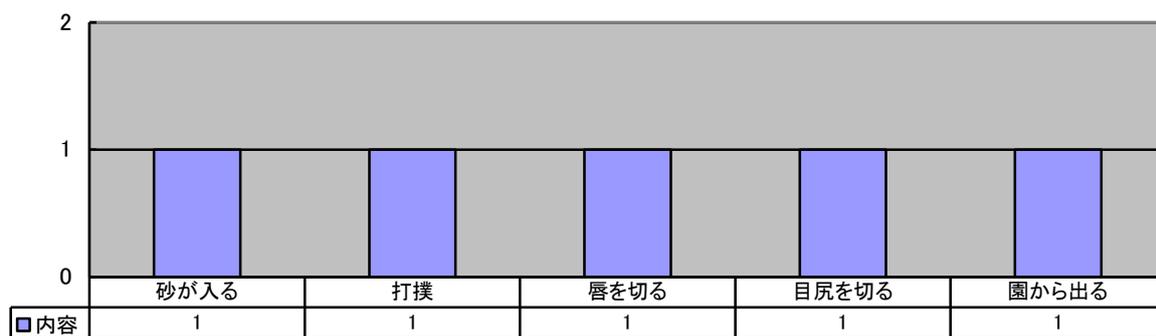
### ⑤時間帯別件数

- 設定時間は子どもの活動が活発であるため、朝や15:30以降は、異年齢児の関わりが多い時間帯であるため、危険が高まると考えられる。
- 虫さされやさかむけの発見が午睡の時間帯に多かったため、処置が多くなったと考えられる。



⑥事故発生内容

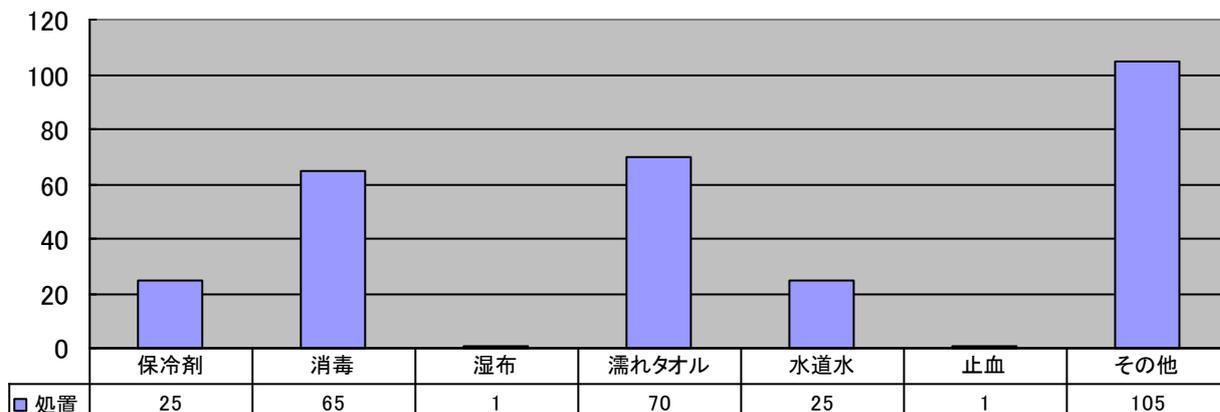
→5件のうち相手のいる事故が1件（目に砂が入る）だった。



⑦処置件数

→引っ掻きや転倒による打撲の怪我が多かったため、濡れタオルの対応が多かったと考えられる。

→その他は、さかむけやすり傷による絆創膏の使用などが多かった。



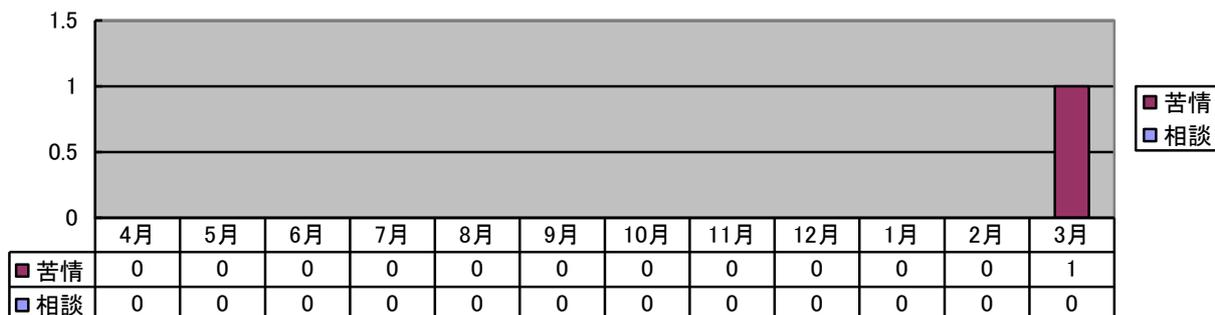
⑧まとめ

ドキドキの件数がよくあがっており、そのことから処置や事故の件数も少なかった。職員一人一人がドキドキに対する意識を高く持ち子どもと関わる中で、情報を共有し全体で把握することにより大きな事故を防ぐことができるのではないかと考える。

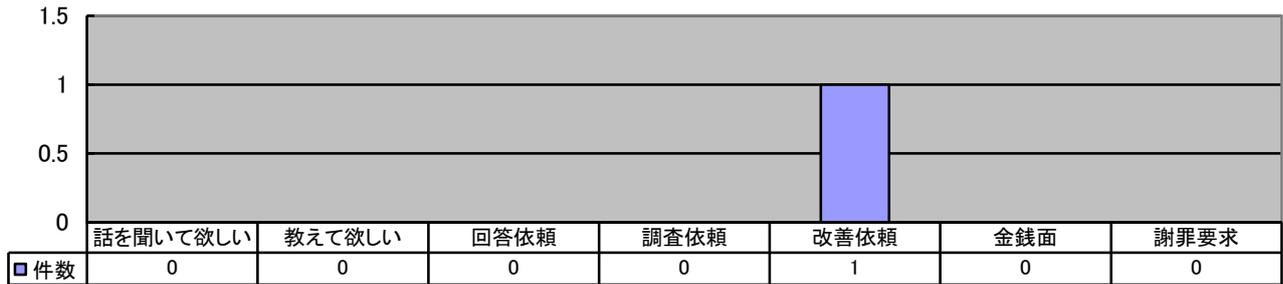
1.1. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

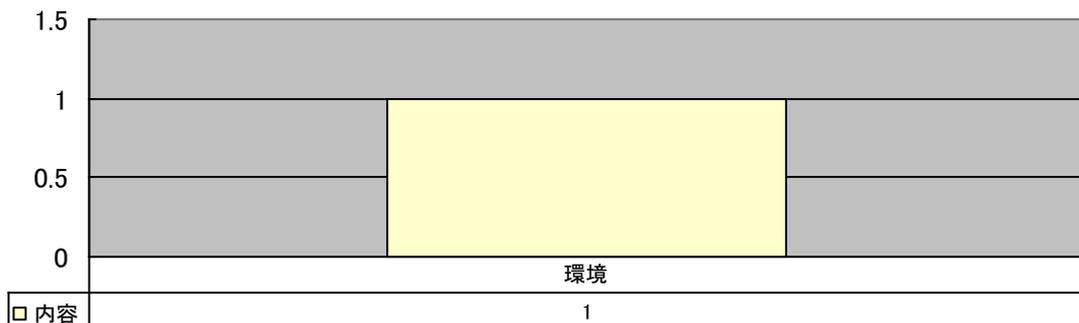
○報告件数・・・ 1件



### 要望分類



### 主な内容



#### ○まとめ

今回の苦情は、いつの間にか園前に鉄の杭のような物が置かれていたために、軽い怪我をしたという内容であった。  
 誰が置いたのか分からない事でも、危険を感じたら、すぐに対応すべきだった。  
 苦情は、これ1件であったのは、日頃から保育士が保護者、地域の方と密なコミュニケーションが取れているからである。これからも積極的にこちらから関わり、安心して通っていただけるようにしたい。

#### 1 2.《総括》

保護者との信頼関係を円滑にするため、保護者と日頃から子どもの様子を伝え合ったり、話を聞くよう努めているため、いい関係が築けている。

しかし、まだまだ気をつけなくてはいけない点、見えていない部分もあると思うので、年度末に保護者からとったアンケートの中の小さな意見も見逃さず、兵庫保育園の保育が向上していくよう考えていきたいと思う。

兵庫保育園の課題でもある要支援家庭に対しては、少しでも子どもが、安定して成長できるよう、細かい配慮が必要である為、関係機関に働きかけ、しっかり連携をとっていきようしたい。

また、今年度は、兵庫区との連携不足ということもあり、園児数が例年より少なかったため、次年度からは、待機児解消のためにも、120%を目標に確保したい。

兵庫保育園は、地域の中の保育園として大事にさせていただき、見守っていただいている。行事も楽しみに来て下さり、ありがたく思う。

今まで同様、地域と共に歩む兵庫保育園であり続けたい。